

養護教諭

子どもたちから もらう幸せが 学校にはたくさんある

大阪市立栄小学校

渡邊 未奈美 教諭 採用7年目



■ 教職をめざした「きっかけ」は……

学生のころ、大好きな友人や先生がいる学校がとても大好きでした。楽しいことだけでなく、辛いことや苦しいこともたくさんありましたが、楽しく安心して学校生活を送ることができたのは、手を差しのべ、支えてくれる人たちがいたからだと高校生のときに気づきました。次は、私が手を差しのべたり、掴んだ手をギュッと掴むことができるような人になりたいと思ったときに、子どもたちが安心して過ごせる保健室にしたいと、養護教諭をめざすことにしました。

また、ボランティアや教育実習で、大阪市立の学校園に関わることもあり、そのときに会った先生方がすごく温かく、いろんなことを気にかけてくださり、アドバイスをくださいました。「こんな先生に私もなりたい」とすごく感じたので、大阪市の教員をめざしました。

■ 教員になって感じる「魅力」は……

養護教諭になり、一番幸せだと感じることは、子どもたちの笑顔を近くで見られることです。学校では、日々ハプニングが起こります。そのようなときに、教職員みんなで協力し無事乗り越えることができたときに感じる達成感や幸福感がとても大好きで、学校で働くことができてよかったと感じています。

また、私が保健教育をすることで、子どもたちが実践してくれたり、「こんな風にすればいいんだ」と理解したりする瞬間がみえるときにも、養護教諭でよかったなと思います。

■ 大阪で働く「魅力」は……

養護教諭は、各校園1人のことが多いのですが、他校の養護教諭のみなさまがとても優しいと感じています。隣の学校の養護教諭が「できているかな」と気にかけてくださったり、「それは嬉しいね、よかったね」と一緒に喜んでくださったりと繋がりを大切にしているということは、大阪市の養護教諭の魅力であると、今、改めて感じています。



■ 教員になるまでに……

興味のあること、好きなこと、やりたいと思ったことに、積極的に取り組むようにしていました。子どもたちと関わるボランティアに参加したり、養護教諭には繋がらないかとも思うことにも取り組んだりしていました。

いろいろなことに取り組んだことが、自分自身の成長に繋がり、さまざまなことへの柔軟性もついたのではないかと感じています。働き始めて、あのときの経験が役立ったということもたくさんあったので、いろいろなことに挑戦してよかったです。

■ 気持ちを切り替えるために……

仕事の時間だけでなく、プライベートの時間も大切にしています。旅行に行くことが好きなので、自分が見たことがない景色を見に行ったり、初めてのことに挑戦したりしています。プライベートも全力で楽しむことで、自分の視野も広がると感じています。

仕事の時間から一歩抜け出すことによって、「また仕事、頑張ろう」「こんなことに挑戦したよ」と子どもたちに話したいと感じることができたときに、より仕事を頑張ることが出来ます。



これから教員をめざす方へ……

私も、養護教諭になる前は、「1人でできるかな」と、すごく不安を感じていました。でも、想像していた以上に、すごく楽しい仕事です。

自分が想像していた養護教諭よりも、たくさんものを、今、子どもたちや先生方からもらっています。ときに、自分が思い描いていたものと違うと感じることもあるかもしれませんが、子どもたちの笑顔に元気をもらえたり、「先生、ありがとう」という何気ない言葉が嬉しかったりと、子どもたちからもらう幸せが、学校にはたくさんあります。辛いことやしんどいこともあると思いますが、養護教諭になってよかったと思えることがいっぱいあるので、「養護教諭になりたい」と思った気持ちを大切に一歩を踏み出してほしいと思います。養護教諭という仕事は、とても楽しいので、一緒に働くことができると嬉しいです。

1日のスケジュール

8:30 8:50 9:00

15:30 16:00 16:45 17:00

出勤 朝の時間

登校してきた
子どもたちの健康観察

授業
開始

出席状況の確認

教室をまわり、子どもたちの様子を観察したり、保健室を訪れる子どもたちとコミュニケーションをとったりします。

事務作業

担当している
業務の資料づくり

授業
終わり

打合せ

職員会議や
打合せ、行事の
準備など
職員全員での
作業がある
こともあります

次の日
退勤
の
準備



先生方と連携して、学級教室や保健室で保健指導したりすることもあります。

